

調査世帯の皆様へ

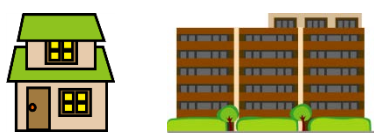
総務省統計局統計調査部消費統計課長 永島 勝利

調査世帯の皆様には日々お忙しい中、先月から家計消費状況調査にご回答いただき、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

家計消費状況調査は、その結果が国・地方や民間企業で活用されているほか、日本の景気の動向を把握する際や、経済政策にも利用されている、大変重要な統計調査です。

世帯の皆様には長い調査期間でご負担をおかけしますが、調査へのご理解に感謝を申し上げますとともに、これからも引き続き調査にご回答いただきますよう、お願い申し上げます。

調査結果は、日本の景気の動向を把握する材料などに利用されています



調査票

この調査による集計結果

他の調査の集計結果（家計調査など）

日本の総支出（+1.5%）のうち家計の消費支出は+2.1%

（出典：内閣府 四半期別GDP1次速報（2014（平成26）年1-3月期）実質値）

政府の公式な景気判断

「個人消費は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要もあって、増加している」

（出典：内閣府 月例経済報告（2014（平成26）年3月））

家計消費状況調査などの調査結果を基に、政府は日本全体の家計の消費支出を推計したり、客観的な景気判断を行っています。

このように、皆様の調査票一つ一つの結果が、日本の経済状況を把握するための大切なデータとなっています。

個人情報の保護は万全です

家計消費状況調査は「統計法」という法律に基づいて行われる「一般統計調査」です。この法律には、調査に携わる者の守秘義務、調査票情報の適正な管理などが規定されています。これを踏まえ、皆様に提出いただく調査票は、統計の作成後、溶解処分するなど、秘密の保護には万全を期しています。

家計消費状況調査については、総務省統計局のホームページでも紹介しています。

URL <http://www.stat.go.jp/data/joukyou/index.htm>

家計消費状況調査

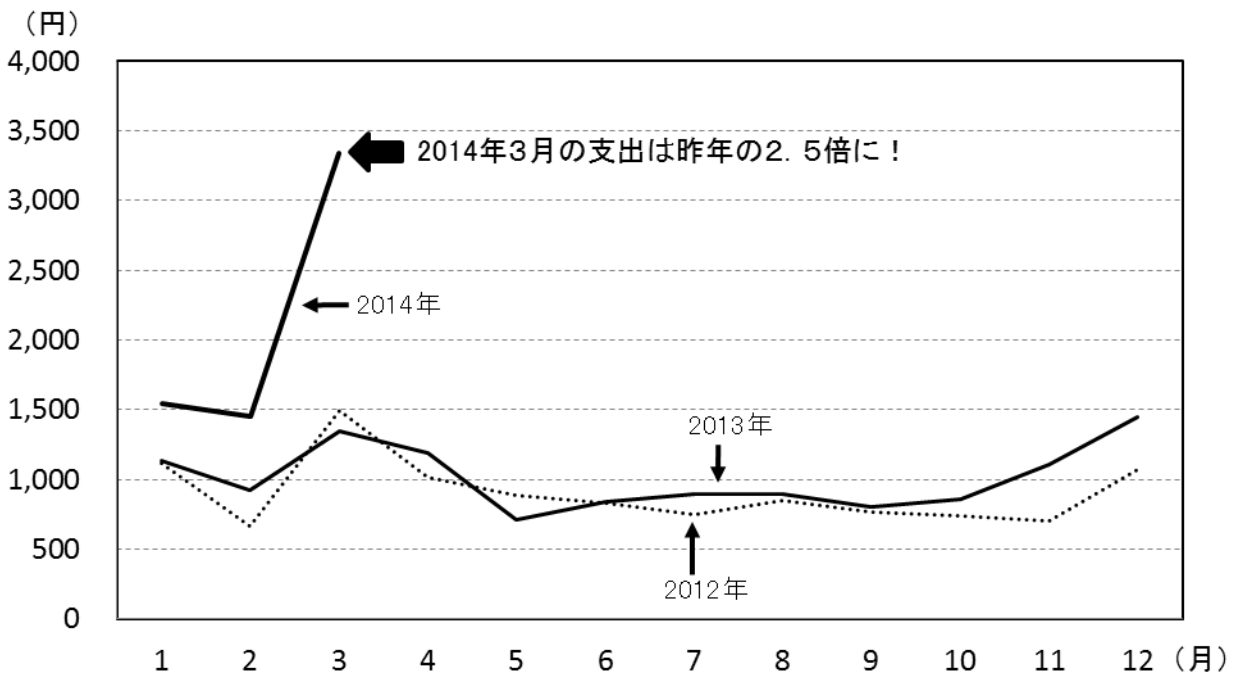
検索

調査結果から分かること ～パソコン編～

家計消費状況調査の結果からは、ある商品・サービスがどれ位購入されているか、といったことなどが分かります。

3月分までの調査結果から、最近のパソコンへの支出の動きを見てみましょう。パソコンへの支出は、例年は1年のうち3月と12月が高くなります。特に、2014年3月は3,338円と、大きく増加しました。この背景には、2014年4月にサポートが終了したWindows XP搭載パソコンの最新版への買替え需要や、2014年4月の消費税率引上げ前の駆け込みの影響などがあると考えられます。

図 1 世帯当たり1か月間のパソコンの支出金額（二人以上の世帯）



Q&A ～総務省統計局編～

Q 総務省統計局では家計消費状況調査のほかどのような調査を行っているのですか？

A 総務省統計局は、我が国に住んでいる全ての人口などを調べる「国勢調査」や失業率など就業状態を調べる「労働力調査」、世帯の家計を調べる「全国消費実態調査」や「家計調査」を実施するとともに、その結果を公表しています。

Q 総務省統計局はどこにあるのですか？

A 総務省統計局は、いわゆる官庁街である、東京都千代田区「霞が関」にはありません。霞が関からはちょっと離れた新宿区の若松町にあります。最寄り駅は、都営大江戸線の若松河田駅になります。また、同じ敷地内に、統計資料館などもありますので、お近くにお越しの際は、ぜひ見学にいらしてください。

Q 統計資料館とは、どのような資料を展示しているのですか？

A 統計資料館では、明治初期からの統計に関する貴重な文献や第一回国勢調査の記録資料・調査用品をはじめ、一般社団法人 情報処理学会が情報処理技術遺産として認定した我が国初の統計集計機である「川口式電気集計機」と同機で使用した入力用カードを作成する「亀の子型穿孔機」などの古い集計機器を展示しています。統計資料館に関する詳細については、以下のサイトをご覧ください。 URL <http://www.stat.go.jp/library/shiryō.htm>

統計資料館

検索